

秋田民報に掲載されました。

親子で親しむ

六郷高校プログラミング体験教室

六郷高等学校へ高橋一校長)で6日、大仙・仙北・美郷の小学生を対象としたプログラミング体験教室が行われた。5組の親子10人が参加し、同校1年生8人のサポートを受け、同校では必修化に向けてプログラミングに先駆けて令和3年度からマイクロビットを使用したプログラミング教育をスタート。学んだ知識を生かして地域の小学生とその家族にプログラミングの楽しさを伝えようと、昨年から同教室を開催して



説明を聞く参加者



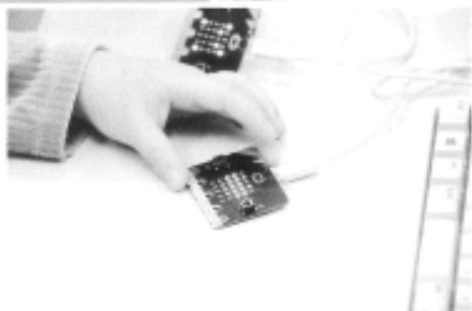
わかりやすくサポート



手順を説明する生徒

今回が2回目となる。教室では、世界中で使用されている電子工作が可能なプログラミング教材、マイクロビットを使用。インターネット上でプログラミング動画を聞いて、オンラインで点滅させるプログラムを作ることから授業がスタート。参加者は案内役の生徒の説明を聞きながら、パソコンとマイクロビットをケーブルで接続してマイクロビットにプログラムを書きこむと、色々な形で作

成した四角やハツ、ひし形などの形通りにランフが光ると、「できた!」「すごい、全部光った」と喜んだ。藤木小学校2年の伊藤愛子さん(8)は「お母さんに誘われて参加した。マイクロビットを使うのは初めて。すごく勉強になって楽しかった」と笑顔を見せた。サポートした大関こころさん(16)は「専門用語を使わず、わかりやすい言葉で伝えるよ



使用したマイクロビット



上手にできて思わず笑顔

- ・本資料の著作権は、秋田民報社様に帰属します。
- ・本資料の一部または全部を、ツイッターやインスタグラムなどに転載することはできません。